２０２６年10月19日
第73号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本
発行人　椀田優一
編　集　情宣担当
ホームページ
http://www.jreu-yokohama1.jp/

横地申第２号　南武線と鶴見線乗務業務の一元化に関する解明申し入れ　団体交渉を行う！⑥

21. 浜川崎駅での交代が無くなる理由を明らかにすること。

【会社回答】具体的な行路設定については、南武線（尻手・浜川崎間）の尻手駅での交代も含めて、決定したら必要な周知は実施していく。

組　合	会　社
浜川崎駅での乗務交代は決まっていないのか。	鶴見乗務を含め、中原乗務で一括管理する中において検討中である。
乗務員詰所やトイレは活用するのか。	設備の運用についても検討中である。
乗務員用トイレは残すべきである。	この間、声を受けて整備してきたものであるので残していく。
現場で言われているが、乗務員交代はなくなるのか。	乗務交代については、あるともないとも言えない。

22. 鶴見線担当が南武支線を乗務する場合、鶴見駅から川崎駅経由で尻手駅から南武支線を乗務することとなると非効率であると認識する。会社の認識について明らかにすること。

【会社回答】具体的な行路設定については、決定したら必要な周知は実施していく。

組　合	会　社
便乗が増えることに対して、会社回答と現場での受け止めに差がある。どういうことか。	便乗が非効率であるという指摘は意見として受け止める。 全体を見ながら進めているところである。

23. 現・鶴見乗務の建屋を泊地のみとする理由を明らかにすること。

【会社回答】鶴見乗務の建物については、乗務員休養室として活用する考えである。

24. 業務の一元化以降、現・鶴見乗務の空スペースの活用について明らかにすること。

【会社回答】鶴見乗務の建物については、乗務員休養室として活用する考えである。なお、その他スペースの活用については未定である。

２３項・２４項は同時議論！

組　合	会　社
そもそも鶴見乗務はどうなるのか。	乗務業務と当直機能は中原乗務へ持って行くこととなる。 構内作業や電留線管理もあるが、主たる労働の場が変わる。 すべての業務が無くなるわけではない。
鶴見乗務建屋の管理はどのように考えているのか。	セキュリティについては安全に使用できる環境にする。きちんと管理できるようにしていく。
鶴見乗務内の浴室や寝室は中原乗務での管理となるのか。	川崎事業本部で考え、調整していく。
決まっていることはそれだけなのか。残りのスペースについて、他に活用する考えはあるのか。	現時点で確定していることは、乗務員宿泊所として使用するということである。
どこまで使用できるようになるのか。	事業本部内で検討していく考えである。
改修工事は行うのか。	必要があれば整備するが、現時点では行わない。宿泊に必要な設備は残していく考えである。
喫煙所はその他必要な設備も同様の考えか。	必要な設備は残す考えで、既存設備は使用する前提である。
グループ会社での活用は考えているのか。	効率面から否定はしない。
鶴見乗務当直が担っている業務を中原乗務で担えるのか。	弁天橋構内の番線管理を鶴見乗務当直が担っているが、中原乗務当直に移管するべきかどうかについては、ワーキンググループで検討しているところである。
弁天橋構内の巡回についてはどのように考えているのか。	夜間の巡回、門扉鎖錠については事業本部内で検討している。

次号⑦に続く